

「同情は求めています。
人々に行動してほしい。
そのために私は
語り続けるんです。」

——サーロー節子



ピースかふえⅢ

ヒロシマの誓い 映画上映会

サーロー節子とともに

核兵器を全面的に禁止する世界の新たなルールである「核兵器禁止条約」が2021年1月22日に発効しました。この映画は、サーロー節子さんというひとりの女性のしなやかな人生を通して、原爆投下から77年をかけて世界がいかに核兵器廃絶に向けて進んできたかを描きます。恋、留学、結婚、子育て、そして被爆証言活動。私たちにも核の恐怖からいのちを守るためにできることがある——いまを生きる私たちにおける希望の物語です。

2022年2月12日(土) 13:00~15:30 (開場12:30)

奈良ロイヤルホテル ロイヤルホール

奈良市法華寺町254-1 / 駐車場あり(駐車カードを受付までご持参ください)

参加費: 無料

定員: 100名

要申込(先着順)

※定員に達し次第締切

保育なし / こどもの同伴可

申込・問合せ: 奈良県生活協同組合連合会

TEL: 0742-34-3535 (月~金 10時~17時) / FAX: 0742-34-0043

メール: kenren@naracoop.or.jp / 申込フォーム: <https://onl.tw/95cF2wI>

主催 / 奈良県生活協同組合連合会・ピースアクションをすすめる会

奈良県生活協同組合連合会(奈良女子大学生生活協同組合、奈良教育大学生生活協同組合、奈良県立大学生生活協同組合、奈良工業高等専門学校生活協同組合、奈良県労働者共済生活協同組合、奈良県医療福祉生活協同組合、生活クラブ生活協同組合、生活協同組合コープ自然派奈良、市民生活協同組合ならコープ)、ならコープ平和の会



サーロー節子 | 広島女学院高等女学校在学中に学徒動員先にて被爆。1954年にアメリカのリンチバーグ大学に留学。カナダ人のジム・サーローと結婚しカナダのトロントに移住する。1965年よりソーシャルワーカーとして活躍しカナダで最高の名誉であるカナダ勲章を受章した。世界各地にて英語での被爆証言活動を続けICAN発足当時よりICANを代表して国連や国際会議にて被爆者としての体験を語り多くの人に影響を与えている。

竹内 道(プロデューサー) | 広島女学院高校卒業後心理学を勉強するために渡米。ワグナー大学心理学部卒業後当時の電通アメリカ(DCA)に入社。1988年、アークメディア(Arc Media, Inc.)を設立。アメリカ市場における日本企業の事業の立ち上げを支援してきた。2010年4月より国連NGO, Youth Arts New Yorkに参加。祖父竹内銈は広島日赤病院初代院長時に被爆。母竹内孝子は入市被爆をした。